大会 2 日目　2024.10.13（日）会場別プログラム

※プログラムは予告なく一部変更する場合があります。　9 月 9 日現在

1F

第一会場（大ホール AB）1000 名

- 9:00-10:30 LIVE
  オンライン招待講演
  看取りのドゥーラ 最期の命を生ききるための寄り添い人
  座長：林 美枝子
  演者：ヘンリー・フェルスコ＝ワイス
  共催：科研費企画
  ※通訳あり
- 10:40-12:10
  パネルディスカッション
  ありかた特別委員会企画
  死の臨床研究会のこれから
  座長：茅根　義和　澤井　美穂
  演者：下倉　賢士　住田　俊彦　大嶋健三郎　野田　隆生
- **閉会の辞・リレーセレモニー**
- 13:10-13:30
  ウェルカムミュージック
  NPO 法人 和・ハーモニー音楽療法研究会 "歌の翼隊" 男声 4 重唱ナチュラルズ、中島眞由美、中山ヒサ子
- 13:30-15:00
  市民公開講座
  「傍らにいる」というケア
  演者：石垣靖子
  座長：梶原陽子

第二会場（特別会議場）500 名

- 9:00-10:30
  シンポジウム
  おひとり様の在宅緩和ケア
  座長：児玉佳之　渋谷麻美
  演者：児玉佳之　北田優子　吉田愛彩　後藤明香
  助成：勇美記念財団
- 11:00-12:00
  講演
  小児がんとトータルケア
  座長：前野 宏
  演者：真部 淳

第三会場（中ホール A）240 名

- 9:00-10:30
  シンポジウム
  知的障がい者のエンド・オブ・ライフを支える
  座長：祐川　暢生　下倉　賢士
  演者：福徳　雅章　祐川　暢生　小林　悦子　片平沙友里　粕谷佳芳里
- 10:40-12:10
  シンポジウム
  企画委員会企画
  真の援助者を目指して
  座長：小澤　竹俊
  演者：萩谷　翔太　林　良彦　武田ひろみ

第四会場（中ホール B）240 名

- 9:30-10:30
  講演
  自死遺族の喪の仕事としての対話努力
  座長：横山聖美
  演者：吉野淳一
- 10:40-12:10
  講演
  LGBTQの基礎知識とグリーフ ～知って、その先へ～
  座長：吉田奈美江
  演者：工藤久美子

2F

第五会場（206）120 名

- 9:00-10:00
  事例検討⑧
  患者にとっての最善を考える ～病状説明をされずに最期を迎えた患者との関わり～
  座長：相河明規、本松裕子
  事例提供：保田千絵
- 10:10-11:10
  事例検討⑩
  気管切開を拒否した患者の意思を尊重し、家族との会話を目標とした抜管を行った1事例
  座長：林章敏、長澤昌子
  事例提供：山下貴郁
- 11:20-12:20
  事例検討⑫
  「緩和ケアって諦めるって事でしょ」－外国人患者の文化や緩和ケアの概念を知る－
  座長：中村陽一、前澤美代子
  事例提供：菅野桂子

第六会場（207）120 名

- 9:00-10:30
  特別事例検討②
  遺伝性のがんの父親を亡くした子どもへのグリーフケア
  座長：西村幸祐　栗原幸江
  事例提供：柴田麻美
- 10:40-11:40
  事例検討⑪
  言葉を失った患者とその家族とのアドバンス・ケア・プランニング支援を振り返る
  座長：奈良林至、北川美歩
  事例提供：内藤綾子

第七会場（小ホール）193 名

- 9:00-10:00
  事例検討⑨
  ホスピスにおける退院支援 意思決定困難な患者の揺らぎへの関り
  座長：月山淑、倉持雅代
  事例提供：谷村美希
- 10:10-11:55
  シンポジウム
  終の棲家としてのホームホスピス
  座長：村松　真澄　長内さゆり
  演者：市原　美穂　竹熊　千晶　冨田眞紀子　吉井みゆき
  助成：勇美記念財団

第八会場（204）240 名

- 9:00-11:00
  ワークショップ
  親の死が近い子ども、および親に対するバタフライ・プログラム ～さよならをいうことつながりを想い出せること～
  主催：大沢 かおり
  NPO 法人 Hope Tree
  ※事前申し込み制

第九会場（201・202）

- 11:00-12:00
  息抜きサロン
  ～あずまし庵～
  主催：渋谷麻美　横山聖美
  ファシリテーター：澤知里、玉置真依
- 12:10-13:30
  休憩・交流の場

第十会場（茶室）

- 10:30-12:30
  茶席
  茶坊主のおもてなし－こころ一休み
  亭主：櫻井義秀

ポスター会場 1F

ポスター会場（大ホール C・107・108）

- 11:30-15:00
  ポスター撤去